



令和3年度が始まります

校長 野尻 一裕

開校28年目の今年度は、新1年生263名を迎え、全校児童1490名、学級数45学級、教職員105名でスタートしました。

昨年度は新型コロナウイルス感染予防対策のため、臨時休校があったり、学習活動に多くの制限がかかったりしました。運動会、学芸発表会、参観日など多くの学校行事を行うことができませんでした。今年度もさまざまな制限が残り、通常とは異なる部分が出てきます。しかし、健康安全面に十分配慮しながら教育活動を進めてまいります。詳細は「北陽小学校の新しい生活様式」をご覧ください。

本校は、ここ数年間、「自己有用感の向上」を学校教育課題として位置づけてきました。そこで、重点教育目標を次のように設定しました。

「自己有用感の向上」 進んで学び、自他のよさを認めなかよく活動できる子どもの育成
～支持的風土の学級づくりと授業改善を通して～

目指す児童像

・意欲的に学習に取り組み、お互いのよさ・考えを認め、高め合い、友達となかよく交流・活動できる児童

です。そして、今年度は、「自己有用感の向上」を図る支持的風土の学級づくりと授業改善を通して、確かな学力（基礎基本・活用力）の向上を目指します。

昨年度はコロナ禍のため、子どもの話をじっくりと聞く場面が減り、子どもの考えや思いをしっかりと受け止めてあげることができなかったのではないかと感じるがありました。感染症対策で、会話を控えたり距離を開けたりマスクで表情が見えにくかったりということが考えられます。教師と児童の間だけではなく、児童同士でも関わりが少なかったのではないのでしょうか。今年度は、意図的に他者との関わりを増やしていくような工夫が求められます。児童が友達や様々な人と豊かに関わる中で自分を高め合い磨き合っていくことが大切です。私たち教職員は、児童の努力や思いやりのある行動を認め・励まし、個と集団を高める教育を進めてまいります。

ご承知の通り、本校の過大規模を解消するため令和4年4月、みどり台小学校が開校します。分離に向けた1年となります。教職員の意思統一を図り、組織的、計画的に取組を進めてまいります。そして、保護者や地域の皆様との絆を深め、学校、家庭、地域がそれぞれの教育機能を高めていくことができればと願っております。今年度も、本校の教育活動に対して深いご理解と厚いご支援をよろしくお願いいたします。

